

2021年3月期 本決算 説明資料

株式会社 髙松コンストラクショングループ 証券コード:1762

2021年5月12日

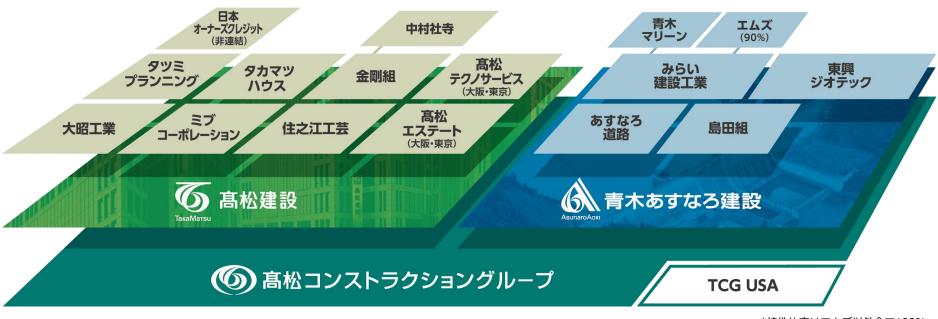
目次

1.	2021年3月期 本決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2.	SDGsへの取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3.	参考指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
4.	トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
5.	2022年3月期 業績予想・配当予想・・・・・・・・・・	21

2021年3月期 本決算

グループフォーメーション

- ◆純粋持株会社の髙松コンストラクショングループ、髙松建設他11社、 青木あすなろ建設他6社、海外子会社のTCG USA, Inc.の21社で連結ベース構成。
- ◆2021年2月26日に大昭工業がTCGグループ入り。 3月31日に新潟みらい建設の全株式を本間道路(株)に譲渡。 新潟みらい建設は4月1日より本間道路(株)の100%子会社となりました。



*持株比率はエムズ以外全て100%

企業集団の状況 (連結)

土木	建築	不 動 産	主要営業エリア
	高松	建設	東京・名古屋・大阪
	[髙松テクノサービス 大阪]		大阪
	髙松テクノサービス 東京		東京
		髙松エステート 大阪	大阪
		髙松エステート 東京	東京
がなります。	住之江工芸		国内(全国)
	金剛組		東京・大阪
	中村社寺		名古屋
		タカマツハウス	東京・神奈川
		ミブコーポレーション	東京
	タツミプランニング		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内(全国)
みらい建	設工業		国内(全国)
東興ジオテック			国内(全国)
からい建 東興ジオテック 青木マリーン あすなろ道路			国内(全国)
あすなろ道路			北海道
	エムズ		首都圏
島田組			国内(全国)
		TCG USA	米国
	髙松コンストラクショングル	ノープ(純粋持株会社)	

2021年3月期 業績推移(連結)

◆新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が受注を中心にありました。売上高は微増 ですが、受注高・営業利益ともに前期実績を下回る結果となりました。 _(億円)

項目	2020/3期	202	21/3期	増減率
受注高	2,967		2,564	△13.6%
売上高	2,823	*	2,830	+0.3%
売上総利益	399	*	383	△4.1%
	14.2%		13.5%	△ 0.7 pt
営業利益	147	•	121	△17.1%
営業利益率	5.2%		4.3%	△ 0.9 pt
経常利益	143	•	121	△15.6%
経常利益率	5.1%	•	4.3%	△ 0.8 pt
親会社株主帰属当期純利益	86		74	△14.2%
当期純利益率	3.1%	•	2.6%	△ 0.5 pt

※大昭工業のM&Aにより、2021年3月期の受注高には大昭工業の繰越受注高2億円を含む。 ※タツミプランニングのM&Aにより、2020年3月期の受注高にはタツミプランニングの繰越受注高56億円を含む。

セグメント別・グループ別 受注高(連結)

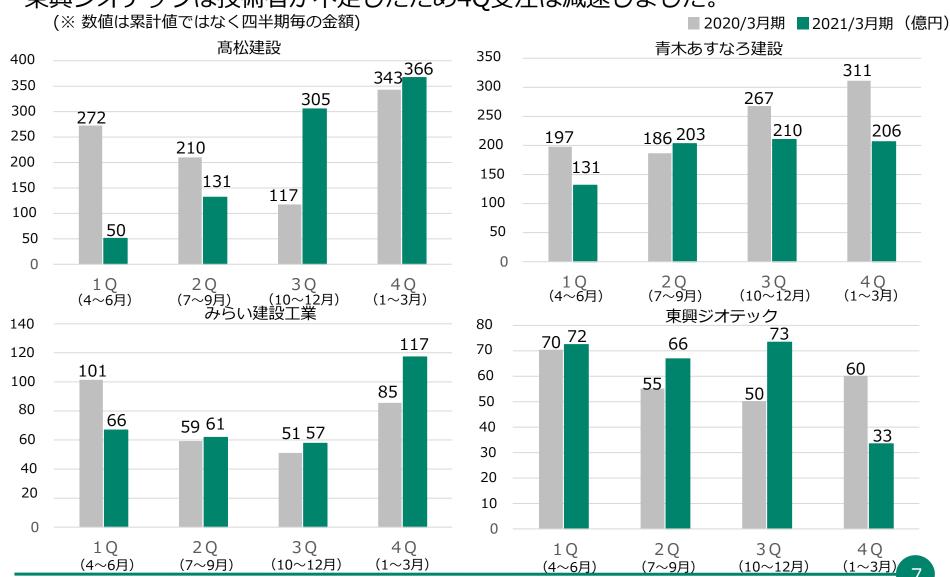
◆建築は髙松建設グループは1Qの受注低迷の影響によるもので、青木あすなろ建設 グループは大型案件の受注が少なかったことによるものです。 (百万円)

セグメント別 グループ別 2020/3 2021/3 増減率 2020/3 2021/3 増減率 112,685 94,841 髙松建設グループ $^{15.8\%}$ 髙松建設 94,340 85,494 $^{9.4\%}$ 青木あすなろ建設グループ 53,405 46,498 $^{12.9\%}$ 髙松建設グループ 43,702 40,137 $^{8.2\%}$ その他 プ 合計 164,771 131,290 △20.3% 合計 138,042 125,631 $\triangle 9.0\%$ 17 髙松建設グループ 330 +1841.2%青木あすなろ建設 96,345 75,120 △22.0% 94,456 青木あすなろ建設グループ 104,916 $\triangle 10.0\%$ 青木あすなろ建設グル 29,740 30,360 みらい建設工業 +2.1%合計 104,910 94,445 $\triangle 10.0\%$ 東興ジオテック 23,604 24,617 +4.3%髙松建設グループ 25,338 30,460 +20.2%青木あすなろ建設グループ 不動産 9,857 10,982 +11.4%その他 青木あすなろ建設グループ 1,267 166 △86.9% 合計 141,079 159,546 △11.6% 27,065 30,717 +13.5% 合計 296,746 256,453 256,453 TCG連結 $\triangle 13.6\%$ TCG連結 $\triangle 13.6\%$ 296,746

※大昭工業のM&Aにより、2021年3月期の受注高には大昭工業の繰越受注高2億円を含む。※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。
※タツミプランニングのM&Aにより、2020年3月期の受注高にはタツミプランニングの繰越受注高56億円を含む。

2021年3月期 主要4社の四半期ごとの受注実績 前年度比較

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で髙松建設は上期受注で苦戦しました。 東興ジオテックは技術者が不足したため4Q受注は減速しました。



セグメント別・グループ別 売上高(連結)

◆建築は青木あすなろ建設グループで大型工事の減少にともにない売上高が減少。 不動産は、アビダス販売がなかったことによるものです。

(百	万	円)
` —	, ,	,

セグメント別		2020/3	2021/3	増減率
	髙松建設グループ	101,274	100,591	△0.7%
建築	青木あすなろ建設グループ	50,496	41,140	△18.5%
	合計	151,002	140,537	△6.9%
	髙松建設グループ	335	330	△1.5%
土木	青木あすなろ建設グループ	103,987	111,841	+7.6%
	合計	104,299	111,826	+7.2%
	髙松建設グループ	25,338	30,460	+ 20.2%
不動産	青木あすなろ建設グループ	1,267	166	△86.9%
	合計	27,065	30,717	+ 13.5%
TCG連結		282,366	283,080	+ 0.3%

				(日万円)
	グループ別	2020/3	2021/3	増減率
髙松	髙松建設	86,305	89,425	+ 3.6%
髙松建設グループ	髙松建設グループ その他	40,643	41,957	+ 3.2%
l プ	合計	126,948	131,382	+ 3.5%
	青木あすなろ建設	95,609	89,578	△6.3%
青木あす	みらい建設工業	28,420	27,804	△2.2%
青木あすなろ建設グループ	東興ジオテック	22,076	24,488	+ 10.9%
グループ	青木あすなろ建設グループ その他	9,586	11,236	+ 17.2%
	合計	155,691	153,106	△1.7%
	TCG連結	282,366	283,080	+0.3%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

セグメント別・グループ別 売上総利益(連結)

◆建築は青木あすなろ建設での低採算工事の影響により20年3月期比で大幅減少。 土木は、青木あすなろ建設で20年3月期比好採算工事がなかったため減少しました。

	セグメント別	2020/3	2021/3	増減率
	髙松建設グループ	18,794	18,938	+0.8%
建築	青木あすなろ建設グループ	3,594	2,589	△28.0%
	合計	22,378	21,081	△5.8%
	髙松建設グループ	78	76	△2.6%
土木	青木あすなろ建設グループ	13,622	13,391	△1.7%
	合計	13,705	13,395	△2.3%
	髙松建設グループ	3,675	3,832	+4.3%
不動産	青木あすなろ建設グループ	93	△89	△195.7%
	合計	3,873	3,829	△1.1%
	TCG連結	39,957	38,305	△4.1%

				(百万円)
	グループ別	2020/3	2021/3	増減率
髙	髙松建設	15,786	16,408	+ 3.9%
髙松建設グループ	髙松建設グループ その他	6,762	6,438	△4.8%
プ	合計	22,548	22,846	+ 1.3%
	青木あすなろ建設	9,558	7,114	△25.6%
青木あす	みらい建設工業	2,644	2,624	△0.8%
青木あすなろ建設グループ	東興ジオテック	3,234	4,310	+ 33.3%
クループ	青木あすなろ建設グループ その他	1,873	1,842	△1.7%
	合計	17,309	15,890	△8.2%
	TCG連結	39,957	38,305	△4.1%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

セグメント別・グループ別 営業利益(連結)

◆建築は青木あすなろ建設は低採算工事の影響で、髙松建設は販管費の増加により 20年3月期比で減少しました。土木は好採算工事の減少によるものです。

	セグメント別	2020/3	2021/3	増減率
	髙松建設グループ	6,458	5,349	△17.2%
建築	青木あすなろ建設グループ	1,777	686	△61.4%
	合計	8,235	6,035	△26.7%
	髙松建設グループ	72	77	+ 6.9%
土木	青木あすなろ建設グループ	8,473	8,089	△4.5%
	合計	8,545	8,166	△4.4%
	髙松建設グループ	1,898	2,034	+ 7.2%
不動産	青木あすなろ建設グループ	23	△148	△743.5%
	合計	1,921	1,886	△1.8%
	TCG連結	14,720	12,198	△17.1%

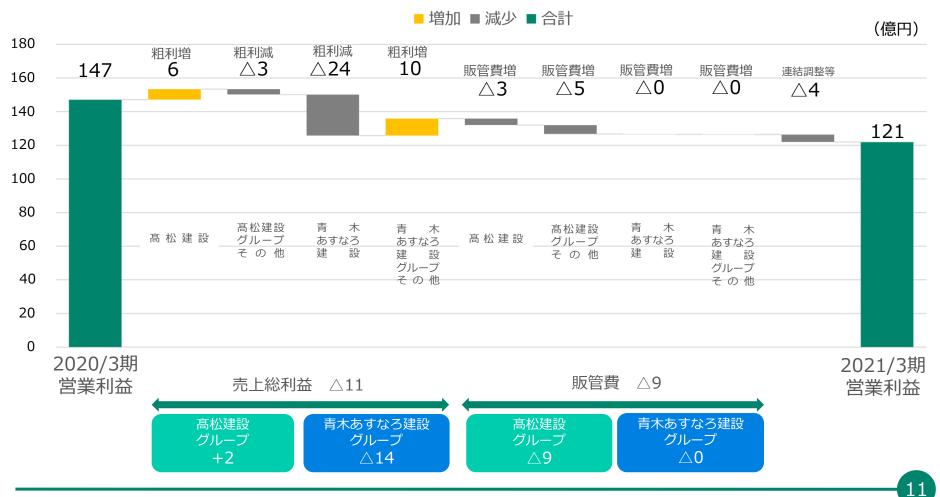
		_		(日万円)
	グループ別	2020/3	2021/3	増減率
高松	髙松建設	5,978	6,206	+ 3.8%
髙松建設グループ	髙松建設グループ その他	2,467	1,606	∆34.9%
プ	合計	8,445	7,812	l △7.5%
	青木あすなろ建設	3,964	1,507	△62.0%
青木あす	みらい建設工業	806	816	+ 1.2%
青木あすなろ建設グループ	東興ジオテック	1,652	2,640	+ 59.8%
グループ	青木あすなろ建設グループ その他	979	992	+1.3%
	合計	7,401	5,955	△19.5%
	TCG連結	14,720	12,198	△17.1%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある

売上総利益·販管費別 営業利益増減分析

◆髙松建設は手持ち工事の順調な推移に伴い売上総利益(粗利)が増加も販管費 の増加で相殺。青木あすなろ建設は低採算工事の発生により売上総利益が減少。

営業利益増減分析



21/3月期 新型コロナウイルス感染拡大に関して当社グループの対応・影響

	項目	対応・影響
髙松 建設	営業活動	4月~6月は対面営業を自粛した影響が大きく、1Qの受注は前期比8割減と 惨憺たる状況だった。 6月よりWEB面談システムを導入。 WEB・電話・対面での商談を選択できるように整備。 8月頃より徐々に対面営業が再開。対面営業の回復と連動して受注も回復。 ただし、一部案件で発注の後ろ倒しや見合わせが発生した。
	工事	お客様から、新型コロナウイルス関連で工事中断の要望が出た案件はなかったため、工事を継続した。
	営業活動 (官庁)	一部の案件で発注の遅れが発生したものの、案件の出件自体は好調。 ただし、入札への参加企業数は徐々に増加しており、競争は厳しい。
青木あすなろ	営業活動 (民間)	一部案件で発注の後ろ倒しや見合わせが発生。 民間の設備投資意欲に関しては押し並べて低調ではなく、コロナ禍における 設備投資に積極的な企業もある。
建設	工事	4月25日〜5月6日の期間、青木あすなろ建設では20現場(全て官庁案件) がストップ。 GWを挟んだため、営業日としては4〜5日程度の遅延で、影響は僅少。 その後、工事が中断した案件はない。

SDGsへの取り組み

SDGs貢献売上高

- ◆中期経営計画「Create!2022」の中で「TCGグループ売上高のうちSDGsが掲げる 17ゴールに対応した売上高」を「SDGs貢献売上高」と定義。
- ◆2021年3月期におけるTCGグループ売上高のうち「SDGs貢献売上高」は1,001億円、 売上高に占める比率は35.4%にのぼります。

						売」	高		(億円)
	項目 定義		19/3期 (実績)	%	20/3期 (実績)	%	21/3期 (実績)	%	
	7 まれよーもみんなに そしてクリーンに 一 一 15 株の景かさも サカラ	環境保全への貢献	以下 ①②③の合計	420	16.8%	341	12.1%	434	15.3%
Е	\$\hat{\pi}{\pi}	①再生可能エネルギーの発展	・再生可能エネルギー関連施設の工事 ・太陽光発電設備の設置	148	5.9%	120	4.2%	151	5.3%
		②自然共生素材・工法の推進	・自然共生素材・工法を用いた法面工事	6	0.2%	8	0.2%	8	0.2%
		③省エネの推進	・CASBEE、ZEB等の規格に適合した建築	266	10.6%	213	7.5%	275	9.7%
	11 (20 KH 5 h 2 h 3 h 3 h 3 h 3 h 3 h 3 h 3 h 3 h 3	住み続けられるまちづくりへ	以下①~④の合計	520	20.9%	586	20.8%	566	20.0%
S	3 #代での人に -///◆	①安心・長寿命空間の提供	・耐震性能が建築基準法の15%増し以上の建築物 ・耐震補強工事 ・長期優良住宅	397	15.8%	448	15.8%	427	15.0%
		②安全・快適・高品質の維持	・マンション等の大規模リフォーム	50	2.0%	50	1.7%	44	1.5%
		③伝統建設文化等の承継	・社寺建築、埋蔵文化財発掘	70	2.8%	85	3.0%	91	3.2%
		④高齢者向け住サービス	・サービス付き高齢者住宅運営	3	0.1%	3	0.1%	4	0.1%
	E/S関連売上高合計		941	37.7%	928	32.9%	1,001	35.4%	
		TCGグルーブ	全体売上高	2,497	100%	2,823	100%	2,830	100%

国内初のサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(SLGB)を発行

- ◆2021年3月に国内初のサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(SLGB)を発行。
- ◆本SLGBはSDGs貢献売上高を目標値とし、調達した資金を全額グリーンプロジェクト に充当する仕組み。
- ◆SDGs貢献売上高が2022/3月期以降4か年度累計で3,911億円以上となることを目標とし、目標未達の場合は償還時に投資家に対しプレミアムが支払われます。
- ◆最終的に、発行額100億円に対し、3倍超の需要が投資家から寄せられました。



東京都港区芝に建築中のTCGビル(仮称)

階数: 地上18階 地下1階

着工・竣工: 2020年9月着工 2023年2月竣工予定

環境認証: CASBEE Aランクを取得済

施工: 青木あすなろ・髙松特定建設工事共同企業体

SLGBの概要					
発行年限	5年				
発行額	100億円				
利率	0.290%				
資金使途	(仮称)TCGビル新築工事の建築資金				
発行条件と 連動する SPTs※	グループ会社全体のSDGs貢献売上高 が将来(2022/3 期以降)4か年度累計 で 3,911億円以上				
プレミアム	SPTsが未達の場合は社債の金額100 円につき0.5円のプレミアムを償還時 に支払う				
取得格付	A-(株式会社日本格付研究所)				

※サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs) 発行体の経営戦略に基づく目標で、達成状況に応じて サステナビリティ・リンク・ボンドの条件が変動する。

参考指標

髙松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 2 Qの中盤には髙松建設の主力顧客である個人顧客との面談は再開したものの、 マンション受注の成約までに時間を要するため、東京本店では1Qから2Qの受注 の出遅れを挽回するまでは至りませんでした。
- ◆ あくまで参考数値ではありますが、大阪本店は非マンション建築が増加傾向である ことに変わりはなく、東京本店のマンション建築と非マンション建築の割合は半々 となっております。

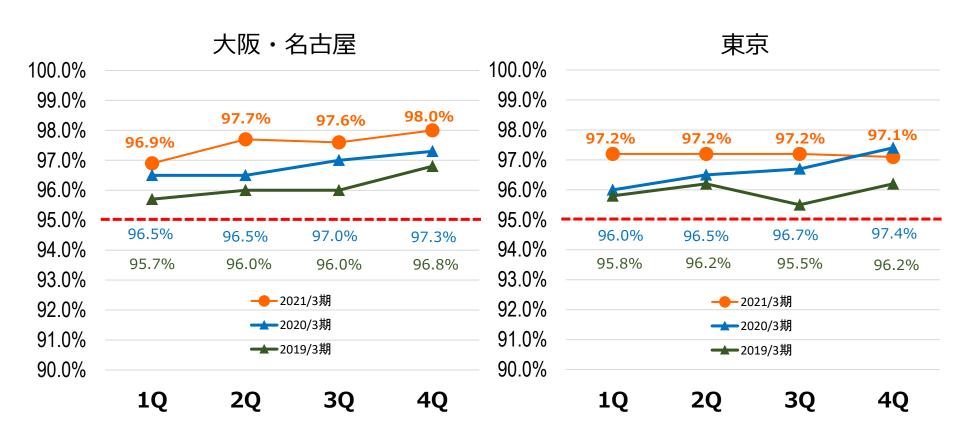
マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2020/3	構成比	2021/3	構成比	2020/3	構成比	2021/3	構成比
マンション	8,512	24.4%	11,358	32.2%	40,495	68.1%	24,042	47.9%
非マンション	26,378	75.6%	23,922	67.8%	18,956	31.9%	26,172	52.1%
合計	34,890	100%	,	100%	59,450	100%	50,214	100%

髙松エステートにおける髙松建設施工物件の入居率

◆東京・大阪ともに、入居率は21/3月期も95%以上を維持。



定義:

「大阪・名古屋」 = 大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」=東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」=各四半期末時点の高松エステート(大阪・東京)が管理している高松建設施工物件の入居戸数 : 各四半期末時点の高松エステート(大阪、東京)が管理している高松建設施工物件の総戸数

トピックス

トピックス

◆ TCGグループ 新入社員224名採用

2021年4月に合計224名

(髙松建設グループ146名、青木あすなろ建設グループ78名) の新入社員が入社いたしました。

今後も積極採用を継続し、

中期経営計画最終年度の2022年3月期には229名 (髙松建設グループ144名 青木あすなろ建設グループ85名) の新卒採用を予定しております。

◆ 大昭工業 TCGグループ入り

大正15年(1926年)創業の総合建設業 大昭工業が 2021年2月26日よりTCGグループの一員となりました。 従来髙松建設が施工人員不足により受注を回避していた 3億円以下の小口案件をTCGグループとして 取り込むことが可能となります。

◆ 新潟みらい建設 本間道路(株)の子会社に

新潟みらい建設は、新潟県湯沢地区を中心に舗装事業を 営んでいました。

設立以降、安定した収益を計上してまいりましたが、今後、 同社が持続的に発展していくには、新潟県内に強固な経営 基盤を持つ会社の傘下に入ることが最良の選択であると 判断し、本間道路(株) へ新潟みらい建設の全株式を譲渡 いたしました。

◆ TCG USA 「Blu Laguna Niguel Phase II」



2020年12月に着工したTCG USAにおける初の賃貸集合 住宅開発事業「Blu Laguna Niguel Phase II」が順調に 進捗しております。竣工は2023年2月を予定しておりま す。

◆ 青木あすなろ建設 耐震天井「AA-TEC工法」施工実績

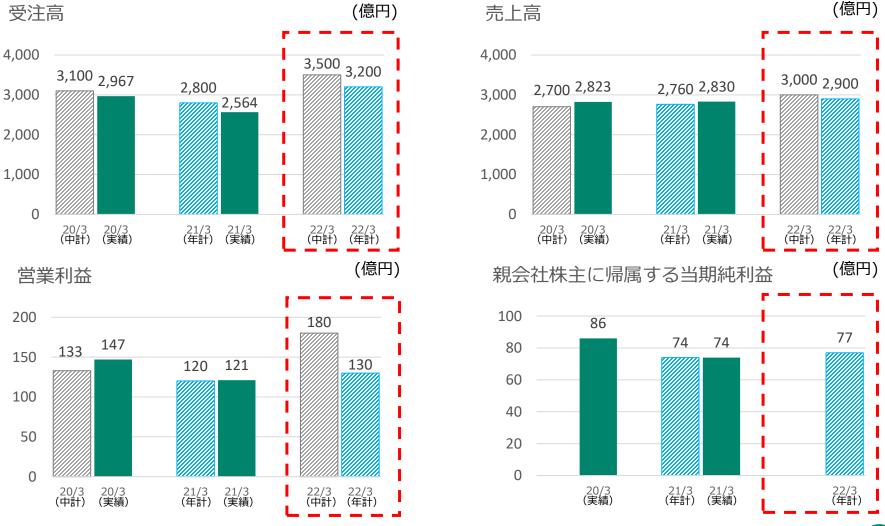


長野原町役場新庁舎・住民総合センター新築工事にて 大ホールの特定天井下地に青木あすなろ建設の固有技術 である「AA-TEC工法」が採用され竣工しました。

2022年3月期 業績予想・配当予想

2022年3月期 業績予想

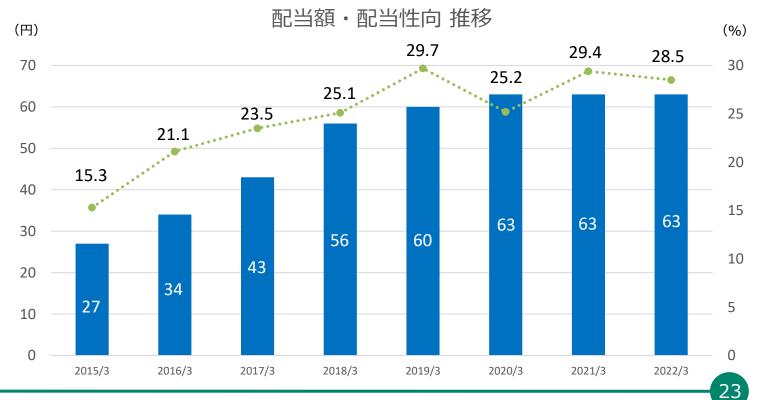
◆新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中期経営計画の目標値までは届かない ものの、21年3月期実績は上回る見込みとなっています。



2022年3月期 配当予想(配当額・配当性向)

- ◆配当額は1株当たり63円の予定。
- ◆今後も安定的な配当を継続していく予定です。

	2015/3 実績	2016/3 実績	2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 実績	2022/3 計画
配当額(円)	27	34	43	56	60	63	63	63
配当性向(%)	15.3	21.1	23.5	25.1	29.7	25.2	29.4	28.5



TCG 髙松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。